

恩納村文化財普及事業 「サンゴ礁が育んだ恩納村の暮らし」展 開催中

日本列島の南に位置する沖縄は、1年を通して高温多湿な亜熱帯気候に属するため貴重な動植物の宝庫として知られています。南西諸島から本州まで流れる暖かな黒潮の影響によりサンゴが育ち、サンゴ礁が島々を取り囲んでいます。サンゴ礁の海には豊かな多くの生き物たちが住んでいます。

その中でも恩納村は豊かな海を保有する沖縄県下有数のリゾート地として知られる海とかかわるムラの暮らしは長い歴史があります。今回、7月21日に行われたサンゴの村宣言を記念して、サンゴ礁が育んだ恩納村の暮らし展を開催いたします。サンゴ礁が育んだ海とサンゴ礁と関わる恩納村の暮らしの歴史を紹介することで郷土を知る機会になります。ぜひこの機会にお越しください。Sunna ちゃん塗り絵コーナーもあります。

本展示会の開催にあたり、恩納村漁業協同組合、沖縄県立埋蔵文化財センターと県内関係市町村教育委員会、恩納村役場関係各課のご協力をいただきました。



サンゴ染

期 間： 10月11日～11月18日 ※休館日：毎週月曜日

場 所： 恩納村博物館2階企画展示室



恩納村 サンゴ礁内の貝



サンゴの村宣言



先史時代のサンゴ礁との関わり



サンゴの展示



サンゴと民具



サンゴ食